

京都市動物園開園120周年特別番組制作・放映協賛受納式 京都新聞掲載のお知らせ

京都市動物園開園120周年特別番組の制作・放映にあたり協賛の受納式があり、門川市長より武田敏也理事長に協賛の感謝状が手渡されました。

また、その様子が京都新聞の朝刊に掲載されました。

掲載日：令和5年11月7日（火）

新聞社：京都新聞 朝刊

動物園開園120周年特別番組のご案内

京都市動物園の120年の歴史を振り返ると共に、現在の動物園が取り組む生物多様性の保全、動物福祉やSDGsの推進等について紹介する特別番組を制作・放映します。

番組放送日時：令和6年3月20日（水・祝）19:00 - 19:30 放送局：KBS京都

京都市動物園ブログ

<https://www5.city.kyoto.jp/zoo/enjoy/blog/breeder-blog/20231103-74035.html>

急に開いた停車中の車の扉をよける配達員
(京都市右京区・デルタ自動車四条教習所)

食事配達安全に

3社の37人自転車講習 京 右

自転車で食事配達員が2021年度に結んだ連携協定の事業の一環で、10月末に開催された。自身も配達ドライバーの経験を持つマウンテンバイク「ダウンヒル」の羽口鉄馬選手も登場し、参加者に安全運転を呼びかけた。

配達員らは、各自配られた地図を見ながら、教習所のコースを自転車で走行。路肩に

高齢者の思い聞き出すこと
中京、19日から講座
高齢者の経験や思いを聞き出すことを学ぶ「聞き書き講座」が19日から京都市中京区のハートピア京都で開催される。市内では孤立しがちな高齢者が自らの人生を語ることをきっかけに地域と関わる「自分史カフェ」の活動が行われており、高齢者がより社会参加しやすいよう聞き手側の技術向上を目指す。

自分史カフェを主催する市民団体「GG's者語（じーずものごたり）」の事業。地域で役割ができれば高齢者の孤立解消につながるという、カフェでは聞き手が高齢者に思い出などを尋ねながら、語り手の高齢者が地域にどう関わっているかを探っている。講座では「聞き書き」

聞き手側の第一人者で金沢大学教授の天野良平さんが講演し、実践や作品発表などを行う。

開催日は11月19日、12月10日、2024年2月18日いずれも午前10時から。全開催日に参加可能な市民を対象。先着18人。各回2千円（学生半額）。締め切りは12月。

問い合わせはメールアドレスa.story@gmail.com

受納式で記念撮影に納まる寄付者ら(京都市左京区・市動物園)

を記念し、京都武田病院(下京区)の武田敏也理事長、不動産会社「松岡商事」(右京区)の松岡勲社長と妻の松岡由美さんが、記念番組の制作・放映に向け

10月31日に同園で受納式を行った。武田理事長は「動物園が永遠に続くことを心から願っています」、松岡社長は「動物との触れ合いは人生を豊かにする素晴らしいことだと思っています」と期待を述べた。(高橋道長)